

小規模多機能ホームすずらん

第91回 運営推進会議 議事録

開催日時：令和 5年 4月24日（月）

開催場所：旧デイサービスセンター

1. 議事

(1) 活動状況報告

- ・3/2・3 雛祭りメニュー、お茶会（14名・11名）
- ・3/14 大森の雛祭り展見学（7名）
- ・3/30 川合・三瓶方面へお花見ドライブ（8名）
- ・4/3 7Dさん誕生会（9名）（散らし寿司、刺身を希望され、昼食で提供）
- ・4/13 図書館見学（3名）
- ・4/21 6Sさん誕生会（10名）（散らし寿司、魚料理を希望され、昼食で提供）

(2) 大田市役所より助言

- ・5類以降後の新型コロナウイルス感染症の対応については、県央保健所が方向性を決めることになっており、連絡をまっている状態です。
クラスター発生時の対応については今まで通りです。感染者が1名出れば、引き続き報告をお願いします。
事業所にアンケートを取って、要望等を県や県央保健所に伝えていきます。

(3) 推進員からの意見等

- ・これまでのことを考えると、新型コロナの対応を市町村に投げられるのは当たり前のことかもしれません。（地域住民の代表）
- ・市町村が対応することになるとは、先の研修会で初めて聞きました。
行政としてサービスを止めるということが言えるのか、とも思います。
感染者が出た時の対応については、事業所でも考えておく必要があると感じます。
（大田市職員）
- ・自己判断というのは都合のよい言葉です。（地域住民の代表）
- ・事業所としては、感染者が出て死亡されるようなことがあればどうすればよいか。損害保険には加入していますが、保険会社が認めないと補償されません。
（事業所職員）
- ・県の方針は出ていませんが、市町村へとなったら事業所に対し市の説明会は

あるのでしょうか。（地域住民の代表）

- ・アンケートを取って、考えていきます。

現在、分かっているのは、当面、ワクチン接種は無料、治療は有料、高額な薬は無料ということです。（大田市職員）

- ・家族が感染した時に利用希望があったらどうされますか。濃厚接触が特定されなければ断れないのではないのでしょうか。（地域住民の代表）
- ・すずらんでマニュアルを作ってもらい、家族はそれに従うしかないと思います。（利用者家族）
- ・すずらんで新型コロナ感染者が出て、昨年5月に2週間、今年1月に1週間、サービスを休止しました。事業所の都合で休止した場合、減額について定めた条項がありませんでした。市とも相談しながら、日割計算で対応させていただきました。（事業所職員）
- ・日割計算をされたことは誠実に対応されたと評価できると思います。自治会費を1年分もらっていた方が年度途中で退会された場合、退会以降の自治会費は返金しました。（地域住民の代表）
- ・ご本人の都合でサービスの利用を休止され、福祉用具のみ利用されていた時には利用料がもらえず、給付管理のみをしたこともあります。（事業所職員）
- ・その都度、市の方に問い合わせしていただければ、と思います。（大田市職員）
- ・すずらんは建物が狭いため、通いの利用定員は15名でも12人位が上限かなと感じています。登録定員は25名で現状が18名でも、なかなか新規の利用者を増やせない現状があります。泊りも利用定員は5名ですが、急な泊り希望に対応できるよう4名までの予定で収める方がよいのですが、難しい時もあります。（事業所職員）
- ・経営と衛生管理のバランスが難しく、苦労が続いていると思いますが、誠実な運営だと思います。（地域住民の代表）
- ・すずらんを利用して、今のところ何も不自由はありません。（利用者代表）
- ・91歳になる母は、車に乗って桜や海を見せると喜びます。（地域住民の代表）
- ・年を取って、あまり外に出たいとは思わなくなりました。ここに来ているだけでよいです。（利用者代表）
- ・丁寧な運営で、安心して利用できます。（利用者家族）
- ・新型コロナの関係では、またお世話になることもあるかもしれません。（大田市職員）
- ・新型コロナの対応等について、情報が入れば連絡します。（大田市職員）

以上